

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

No.	2026-019
投書日	2026/7/1
タイトル	MYTG の運用について
投書内容	東北学院大学の学内システム「MYTG」について、意見を投書いたします。 現在、MYTG の掲示機能において、教職員による設定ミスが原因と思われる誤配信が非常に多いと感じています。 私のもとには、週に1回程度の頻度で、履修していない講義に関する掲示が届いています。 その中には、グループ名簿など、学生の個人情報が含まれているものもありました。 大学では、学生に対して個人情報の流出等に関する注意喚起を行っています。 その一方で、教職員側によってこのような誤配信が発生している現状は、看過できないものだと考えます。 また、チューターの教員から特定の学生に対して、出席状況の確認を求める掲示が届いたこともありました。 掲示には学生の姓が含まれており、受信した側から個人を特定することが容易な状態でした。 さらに、同じ内容がメールにも自動配信されているため、MYTG 上で掲示を削除したとしても、学生側では半永久的に閲覧できる状態になっています。 もちろん、投稿前に設定を十分確認しなかった教職員にも責任があると考えます。 しかし、これほど高い頻度で誤配信が発生している現状を見ると、MYTG 自体にも誤配信を防ぐ仕組みが不足しているのではないかと感じます。 たとえば、自身の担当講義を超える範囲に掲示を投稿する場合には確認ダイアログを表示することや、学部・学科の責任者によるダブルチェックを行うことなどが考えられます。 このような事前対策を行えば、誤配信は大きく減らせるのではないのでしょうか。 また、MYTG には掲示機能以外にも多くの機能がありますが、各教員がそれらを適切に使い分けられていないと感じる場面もあります。 「課題」「テスト」「クリッカー」「アンケート」は、いずれも学生の成果物や回答を教員へ送信するという点で似た機能です。 しかし、それぞれの機能を適切に使い分けられている教員は多くないように感じます。 学生側から見ると、機能ごとに文字数制限や提出方法などが異なるため、混乱の原因になっています。 また、Google Forms など、MYTG 以外の外部サービスを用いて課題提出を求める教員もいます。 その場合、締切などの情報を MYTG 上で一括管理できず、学内システムの利点が十分に活かされていないと感じます。 大学として、すべての教員に MYTG の利用を強制することが難しい点

	は理解しています。 しかし、多額の維持管理費をかけて運用しているのであれば、MYTG がより適切に活用されるよう、教員への周知やサポート体制をさらに強化していただきたいです。 さらに、授業資料の共有を「掲示」機能のみで済ませる教員や、資料共有のために「課題」機能を使用する教員もいました。 その結果、学生の画面では提出締切が表示され、資料を確認するたびに「課題が未提出なのではないか」と不安を感じる場面がありました。 今回挙げた事象は、いずれも教職員側の設定や運用方法に起因して発生しているものです。 学生側からは、このような投書以外の方法で操作や指摘を行うことができません。 特に掲示機能に関しては、個人情報の漏洩という重大な事故につながる恐れがあります。 情報学部を設置している大学として、より慎重かつ適切な対応が必要ではないでしょうか。 なお、学生目線での MYTG に関する不満は他にもあります。 しかし、No. 2026-014 の投書と重なる部分が多いため、今回の投書では省略いたします。 この投書に限らず、他の投書や学生・教職員の意見としても、MYTG に対する不満は多く見受けられます。 学生が安心して利用できる学内システムとなるよう、強く改善を希望いたします。
回 答 日	2026/7/30
回 答	MYTG（教学系システム）の運用および教職員の操作に起因するトラブルについて、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 学内システムの不適切な運用により、履修していない講義の掲示が届く、他者の個人情報（名簿や出席状況等）が閲覧できる状態にあるなど、心に不安や混乱を与えてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。 また、メール自動配信の仕様上、事後の削除が困難である点についても、ご指摘の通り重大なリスクであると認識しております。 今回いただいたご指摘を重く受け止め、「教職員個人の注意喚起」に留まらず、システム運用側から教員側への具体的な働き掛けと、操作ミスを軽減するための運用上の指導・対策を進めてまいります。 1. 掲示機能における誤配信・情報漏洩の防止策（教員側への働き掛け） (1) 宛先設定時のダブルチェックと運用指導の徹底： 担当講義以外への誤配信を防ぐため、投稿前に宛先（対象クラスや受講生）を再確認するよう、全教職員に対して改めて強く注意喚起を行います。また、学生の個人情報やプライバシーに関わる連絡を行う際は、全体掲示ではなく個別の連絡機能を使用するよう、改めて周知いたします。 (2) システム的な誤配信防止策の検討：

ご提案いただいた「担当講義を超える範囲への投稿時の確認ダイアログ表示」については、カスタマイズになりますので現時点での実装は困難です。一方、重要セクションにおける承認フロー（ダブルチェック）の導入は技術上可能です。こちらは、教員組織上の運用ハードルが課題となるため、ご指摘を踏まえ学内にて検討して参ります。

2. 各種機能の適切な使い分けと周知・サポートの強化

(1) 機能別「利用ガイドライン」の策定と標準化:

「課題」「テスト」「クリッカー」「アンケート」などの類似機能、および授業資料の共有方法について、教員が迷わず適切に使い分けられるよう、学生目線での不利益（締切表示による不安や混乱）を明記した「機能別対比表」を作成・配布します。特に、資料共有のために「課題」機能を使用するような、学生に不要な不安を与える運用については速やかに是正を求めます。

(2) 外部サービス（Google Forms 等）利用時の運用指導:

外部サービスを利用する場合であっても、締切情報や重要なアナウンスは MYTG 上で一括管理・周知を行い、学生のポータルとしての利便性を損なわないよう、教員側へ運用の統一を働きかけます。

(3) 教員向け説明会の拡充と相談窓口の再確認:

効果的なシステム活用と、全教員の IT リテラシー底上げを目指し、学期始めの研修会等での操作説明を実施しております。また、設定に不安のある教員へは個別サポート窓口も設けておりますが、十分な利活用が進んでいないことからご指摘の状況が生じているものと考えます。こちらについては、再度サポート体制について周知し、改善をはかります。

今後も MYTG（教学系システム）が、学生の皆さんにとって「安心・便利」なツールとして機能するよう、教職員一同、運用の改善とリテラシーの向上に努めてまいります。

今後とも、お気づきの点がございましたら、貴重なご意見をお寄せいただけますと幸いです。